

第4回 浦添運動公園再整備計画検討委員会
会議録

【開催概要】

日 時	令和6年2月26日（月） 15：00～17：00
場 所	浦添市役所 6階 601会議室
議 事	(1) 各業務の取り組みについて ①新市民体育館「観る」スポーツの施設整備実施設計 ②浦添市陸上競技場基本設計 ③浦添運動公園再整備基本設計【園路検討および駐車場基本計画】 ④浦添運動公園運営管理手法検討業務 (2) 今後のスケジュール（案）

【出席者】

(1) 浦添運動公園再整備計画検討委員会

委員			
神谷 大介	国立大学法人 琉球大学 工学部 准教授	出席	委員長
友寄 孝	一般社団法人 沖縄しまて協会 技術環境研究所アドバイザー	出席	副委員長
大石 智弘	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 公園・まちづくり調整官	出席	
平良 貴洋	沖縄振興開発金融公庫 調査部 地域連携情報室 室長	出席	
金城 孝	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビュー ロー 国内事業部長 兼 東京事務所長	出席	
下地 浩之	一般社団法人 沖縄県造園建設業協会 会長	欠席	
照屋 満	浦添市スポーツ協会 理事 (浦添市陸上競技協会副会長)	出席	
田前 学	社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 事務局長	欠席	
玉城 英吉	浦添自治会会長 小湾自治会長 (浦添市スポーツ協会理事)	出席	
関戸 塩	浦添市PTA連合会 会長	出席	

アドバイザー			
高原 直泰	沖縄S V株式会社 代表取締役CEO	欠席	代理出席 塩川 誠（営業部長兼ホームタウン担当）
荻堂 盛助	一般社団法人 浦添市身体障がい者福祉協会 副会長	出席	
譜久里 武	一般社団法人 アスリート工房 代表	出席	

（２）事務局

浦添市			
大里 千都美	市民部経済文化局 局長	出席	
平古場 祐樹	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 技幹	出席	
諸喜田 司	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 課長	出席	
親富祖 弘也	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 係長	出席	司会
兼城 孝之	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 技査	出席	議事説明(1)②, ④
徳永 徹	都市建設部 美らまち推進課 課長	出席	
比嘉 拓人	都市建設部 美らまち推進課 係長	出席	議事説明(1)③
比嘉 亨	都市建設部 新施設建設課 室長	出席	
仲島 裕貴	都市建設部 新施設建設課 技査	出席	議事説明(1)①
平野 健太郎	都市建設部 新施設建設課 技査	出席	
協力業者			
山中 亮	株式会社 中央建設コンサルタント	出席	令和5年度業務受注業者
小川 勇樹	株式会社 中央建設コンサルタント	出席	令和5年度業務受注業者
長松 隼一郎	株式会社 中央建設コンサルタント	出席	令和5年度業務受注業者

※傍聴者 浦添市陸上競技場基本設計業務 受注業者：株式会社フォーム建築研究所

浦添運動公園再整備基本設計業務 受注業者：株式会社日興建設コンサルタント

【議事に対する調査、検討及び意見の概要】

議事

[事務局]	(議事の説明) (1) 各業務の取り組みについて ①新市民体育館「観る」スポーツの施設整備実施設計 ②浦添市陸上競技場基本設計 ③浦添運動公園再整備基本設計【園路検討および駐車場基本計画】 ④浦添運動公園運営管理手法検討業務 (2) 今後のスケジュール(案)
[委員]	陸上競技場について、メインスタンドが国道330号側の現在の芝生スタンドに整備されることによって、芝生スタンドの面積が減少することが想定される。芝生スタンドは、自治会対抗陸上競技大会や県民体育大会等において、テントを設置するスペースになっているため、芝生スタンドの面積が減少することにより、テントを設置できるスペースの不足が懸念される(自治会対抗陸上競技大会では約25張のテントを設置)。
[事務局]	現在、陸上競技場コーナー側のサブスタンド(芝スタンド)では、植栽の影響によりテントの設置等が難しい状況となっている。そのため、スタンドの段差をなくすとともに、植栽の再配置等を行うことで、テントが設置できるスペースを確保する。 会議資料6 P20に記載のとおり、大型テント(3.55m×7.06m)を約50張設置できるように計画する。
[委員]	会議資料5 P7について、eスポーツ開催対応の大容量通信設備の整備要望に対する対応方針の記載があるが、主催者で機材等を持ち込むことでeスポーツの開催が可能になるという認識でよろしいか。 また、専用通信回線を新市民体育館まで配線することが可能な環境を整備しておけばeスポーツを主催する団体にとって開催できる十分な環境となるのか。
[事務局]	主催者で通信回線を引き込んでもらえば、新市民体育館でeスポーツを開催できる環境を整備する。 機材等については、主催する団体によって異なることから、備え付けではなく機材等を

持ち込んでもらう想定である。

[委員] 新市民体育館のバリアフリー整備について、専門家の意見やパブリックコメントでの意見などを取り入れて検討されているのかお聞きしたい。

また、施設の維持管理において、光熱費が高くなることが想定されるが、エネルギーやコスト削減の観点からの対策等は検討されているのか。

[事務局] バリアフリーについては、新市民体育館の基本計画検討段階において実施した関係団体へのヒアリング等での意見や沖縄県福祉のまちづくり条例に則り設計を行っている。また、2階平面計画にある「車いす専用避難滑り台」を設置するなど、障がいのある方も含め安全安心に利用できる環境計画を行っている。

光熱費については、新市民体育館の空調設備に輻射式冷房を採用し、従来の空調設備よりも省エネとなるよう計画を行っている。

[委員] 新市民体育館のエネルギー設備については、省エネだけでなく、発電の視点もある。認証制度の基準などを参考にどのレベルで整備するのか確認すると良いのではないかと。

[委員] 新陸上競技場のトラックの材質や色について教えてほしい。

[事務局] トラックの材質や色については、今後検討していく。他の陸上競技場では赤色のトラックが多いが、カビ等の汚れが目立つなどの課題も把握しており、これらも含め検討して報告したい。

[委員] 陸上競技場について、メインスタンドの観覧席以外に、今までの陸上競技場からの変更点やアピールできる点などを教えてほしい。

また、陸上競技場を利用している中で夜間の照明が暗いといった課題があったが、どのような対応がとられるのか。

[事務局] 既存陸上競技場は、第三種公認競技場であり、新陸上競技場も第三種公認に対応するよう計画している。そのため、競技場の備品や器具等も第三種公認に対応する必要があることから、それらが維持管理できる器具庫等も計画していく。また、陸上競技場は、観光交流の観点からも多目的に利用出来る施設として、サッカーやラグビーの試合、プロサッカーのキャンプ等に利用出来る施設となる。そのような中で芝の管理が重要になるため、公園内の湧水等を活用して芝を管理できる仕組み等を検討している。

照明に関しては、競技区分等を踏まえながら必要な照度が確保できるように計画する予定である。

[委員] 会議資料5 P 3に記載の新市民体育館のアリーナの床の仕様について、国際スポーツ大会及び各屋内プロスポーツイベントの開催が可能と記載があるが、オリンピックで利用された施設ではフランス製のタラフレックスを使用している。本施設もタラフレックスの使用を想定されているか。

また、会議資料8 P 14で、運営管理について3つのスキーム案が示されているが、市として想定するパターンはあるか。

[事務局] ご理解のとおり、新市民体育館のアリーナの床材は、タラフレックスを使用する予定である。

運営管理に関するスキーム案については、引き続き、民間事業者へのサウンディング調査を予定しており、民間事業者の意向を確認しながら決めていきたい。

[委員] 会議資料7 P 5の駐車場検討について、a案の林間駐車場3層4段が推奨案とされているが、特例で3層4段にすることが難しくなった場合の対応案は検討されているかお聞きしたい。また、193台分の駐車スペースを確保する必要性も含めて駐車場の運用状況を見ながら段階的に増設を検討することが可能か教えて頂きたい。

3層4段になると大規模な施設になるため、景観面について考慮して検討する必要がある。

[事務局] 現在、立体駐車場を3層4段で建築許可申請できるかを内部で確認中である。3層4段で整備出来ない場合の対応案及び段階的な整備については、現在、駐車場の有料化も進めていることからソフト面での対策も含めて今後検討する。

施設の具体的な検討にあたっては、景観面を考慮し、景観審議会等で意見を伺いながら検討を進めていきたい。

[委員] 新陸上競技場のメインスタンドが既存陸上競技場と反転することで、トラックのメインストレートなども反転するが、競技や観覧上において支障がないか再確認してほしい。

新市民体育館内に整備される観覧席から陸上競技場を観戦する場合の見え方や見せ方等がどのようになるのか配席も含めて確認してほしい。

また、運営管理手法について、指定管理者制度からコンセッション方式に切り替えるパ

ターンの場合、期間の設定や切り替えのタイミングなどを考慮して設定する必要がある。

[事務局] 陸上競技場のメインスタンドについて、これまで1,800席あったものが、新市民体育館の整備に伴いほとんどが失われる中、残存する席で機能を拡張することは困難であることから、反対側の国道330号側にメインスタンドを移すことを検討した。メインスタンドが反対側に移動することによって、トラックのスタート位置も反転させ、ゴール付近で計測などが出来るような諸室を整備するような計画となっている。

また、新市民体育館内の観覧席については、半屋外の形で整備されることから、VIP席等での運用もできるのではないかと考えている。そのような仕分けを行いながら、現在と同程度の観覧席数を確保したい。

運営管理手法について、指定管理者制度からコンセッション方式に切り替える案は長期での事業期間を想定しており、指定管理者制度での3～5年間でトラックレコードを取得し、コンセッション方式への切り替えや指定管理者制度での継続等を検討していく想定である。引き続き、サウンディング調査等で民間事業者が参画しやすい条件を検討していく。

[委員] eスポーツについては、エネルギーに関する意見と同様に、どのレベルのイベント等の開催を想定しており、そのために必要な設備を整理してほしい。既存市民体育館が築35年で雨漏り等が発生していることなど踏まえ、施設の修繕のしやすさや維持管理のしやすさも考慮してほしい。

駐車場については、駐車場有料化の取組のほか、都市計画マスタープランや地域公共交通計画の中でカルチャーパーク内を交通結節点とする取組み等もあることから、関係部局と連携し計画の整合を取りながら検討する必要がある。

新市民体育館の防犯カメラの仕様の説明があったが、防犯カメラを活用して利用者データを取得することも技術的に可能であるため、防犯面だけでなく施設の運営面や地域の活性化、モニタリングといった観点からの利用も検討できるのではないかと。

[委員] 工事中に利用できない施設等の周知について、他市町村に住む利用者への周知などどのように行っているか。

[事務局] 市のHP、運動公園の工事ゲートでの案内、運動公園のHP上で工事期間中に利用できない施設等について周知している。

[委員] 工事中に施設が利用できないことについて、近隣市町村と連携を取って近隣市町村の施設利用を促すと言った話があったがどのようになっているか。

公共交通利用など、今回の委員会の意見を踏まえ他部局や近隣市町村との調整も今後行われると思うが、その調整内容等について今後報告されるか確認したい。

[事務局] 現在、施設の利用に制限が出ていることから他市町村の施設利用を促す取り組みを行っているところである。

今回の委員会の意見について、関係課に意見照会等を行い調整した内容を次回の委員会で報告したい。

以上